地域調整会議の流れ

①　地域調整会議の説明

　災害時に自ら避難することが困難な障害者、高齢者の方について、市が優先度が高いと判断した方を対象に、個別避難計画を作成することとなりました。

　令和７年度までに豊川市内の優先度が高い方の個別避難計画を完成できるよう、順次作成を進めているところです。

　〇〇〇〇さんにつきましても、個別避難計画を作成することに同意をいただき、計画作成を始めているところです。

　個別避難計画の作成は豊川市からケアマネジャーなどの福祉専門職に委託されます。私は豊川市から〇〇さんの個別避難計画の作成を委託された△△事業所の□□です。

　今日の話し合いで、〇〇さんへの支援内容を決めて、個別避難計画を作成したいと思い、みなさんにお集りただきました。

　ご本人の状況や災害時の避難方法、具体的に支援していただきたいことなど、皆さんで共有し、災害に備えたいと思いますので、よろしくお願いします。

　なお、今回お渡ししている個別避難計画書（案）は会議終了後に回収させていただき、後日完成したものを本人、市、地域支援者、民生委員、自主防災会へ共有させていただきます。

②　参加者自己紹介

③　〇〇さんの現在の状況を説明

④　〇〇さんの災害時の避難計画、地域支援者に支援してほしいことを説明し、

　地域支援者から了承をもらう。避難の支援は法的な義務や責任を負うものではないこと、災害発生時は地域支援者も自身の安全を最優先に考えて行動するため避難の支援ができない場合があっても問題ないことについて出席メンバーで認識を共有しておく。

⑤　避難訓練の実施について

　要支援者・関係者で集まり避難訓練（避難経路の動作確認）を実施することが可能そうか検討。

　◆お住まいの地域での避難訓練開催予定の有無について把握しているか、本人・ご家族等へ確認。もし実施の有無についてご存知で参加の意向があれば、福祉専門職から介護高齢課まで連絡をお願いします。

　◆関係者での動作確認が実施できそうな場合は、どのおおよその実施時期

（〇年〇月頃）、参加メンバー、事前に準備するもの等確認しておく。
　要支援者が参加しての避難訓練実施が難しい場合は、関係者のみで避難先の下見をしておくこともひとつの方法であることを案内。

⑥　連絡先等の交換等（必要時）

⑦　個別避難計画が完成したら、本人、市、地域支援者、民生委員、自主防災会で個別避難計画を共有することを説明。個人情報なので、取り扱いに注意すること、災害時だけでなく日頃からの関係作りをお願いし、終了。